

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 620501 女性消防団防火啓発事業		主管課名 防災安全課								
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域		課長名 廣瀬 邦仁						
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち								
		基本事業	消防の充実								
	(1)事業の概要										
	火災の発生が増加する秋季から、女性消防団員による一般家庭（主に老人世帯）への防火啓発・指導を行うことにより、火災の発生を防止、市民の生命と財産を守る。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名称	単位						
				女性消防団員数	人						
				その指標							
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		女性消防団による防火訪問を実施し、防火意識の啓発を図った。								
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
市民			名称	単位							
			人口	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
防火意識の高揚を図る。			名称	単位							
			防火訪問世帯数	世帯							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
生命と財産を守る。			名称	単位							
			消防団員実数	人							
			火災発生件数	件							
			消防水利設置数	ヶ所							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		人	49	47	47	47	47	47			
(6)の対象指標		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000			
(7)の成果指標		世帯	431	418	400	400	400	400			
(8)の結果の成果指標		人	368	359	360	360	360	360			
		件	36	31	20	20	20	20			
		ヶ所	788	789	788	788	788	788			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	09	項	01	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	123	131	132	132	134	134			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	109	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	14	131	132	132	134	134			
人件費 B		千円	227	223	371	371	371	371			
正職員従事時間×人数		時間×人	30×2	30×2	50×2	50×2	50×2	50×2			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用 C		千円									
トータルコストA+B+C		千円	350	354	503	503	505	505			
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620501	女性消防団防火啓発事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成3年 から			女性消防団員は各行政区から2名を選出しているが、選出の困難な行政区もあり、女性消防団員が不在の地区の地区は防火訪問が実施されていない。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
消防庁から火災予防の一環として女性消防団の設立の働きかけがあった。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化した内容		
変化している		女性消防団員の確保が難しくなってきた。		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
					根拠法令	なし	
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	→	拡大 縮小	この事務を行う根拠又は理由	防火啓発は市の役割である。
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	→	追加 拡充 絞込み	理由		
							内容
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	→	理由 又は 内容	災害時要援護者への防火啓発が疎かになる。	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	→	理由 又は 内容	女性消防団員数に限りがあるため。	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	→	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない
効率性	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	→	内容	啓発品を減らす。		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	→	内容			
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	→	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持